

日本認知言語学会第16回全国大会プログラム 【1日目】

9月12日(土) 受付9時30分 良心館1階

		第1室	第2室	第3室	第4室
		良心館RY101	良心館RY102	良心館RY106	良心館RY207
ワークショップ	10:00 12:20	<p><テーマ> 多義語への多角的アプローチ</p> <p>○李澤熊(名古屋大学)・ 初山洋介(名古屋大学)・ 木下りか(武庫川女子大 学)・有蘭智美(名古屋学 院大学)</p>	<p><テーマ> 基本多義動詞の意味構造、 及び習得との関係について の実証的研究</p> <p>○森山新(お茶の水女子大 学)・大西はんな(お茶の 水女子大学[院])・山崎香 緒里(お茶の水女子大学 [院])・鐘慧盈(テコラ ス)</p>	<p><テーマ> 認知言語学における方法論 研究の可能性を探る-言語 学的方法論研究の例示を通 じて-</p> <p>○斎藤幹樹(京都大学 [院])・遠藤智子(日本学 術振興会/筑波大学)・吉 川正人(慶應義塾大学[非常 勤])・黒田航(杏林大学)</p>	<p><テーマ> 日本語・韓国語・トルコ語 の<事態把握>と「ナル表 現」</p> <p>○池上嘉彦(東京大学名誉 教授)・守屋三千代(創価 大学)・テキメン・アイ シエヌール(アンカラ大 学)・金智賢(宮崎大学)</p>

昼食休憩 (12:20~13:20)

開会挨拶 (13:20~13:30) 良心館RY地2

<p>特別講演 13:30~15:30 良心館RY地2</p>	<p>講師：Vyvyan Evans (Bangor University) 司会：早瀬尚子 (大阪大学) 演題：Language, Diversity and Cooperative Intelligence</p>
--	---

		第1室	第2室	第3室	第4室	第5室
		良心館RY101	良心館RY102	良心館RY106	良心館RY207	良心館RY208
司会		瀬戸賢一(佛光大学)	吉村公宏(奈良教育大学)	木下りか(武庫川女子大学)	西光義弘(神戸大学名誉教授)	守屋哲治(金沢大学)
第1発表	15:50 16:25	「感情事象の表現パターン に見る感情の捉え方-6種 の言語における調査結果に 基づいて-」 王安(岡山大 学)	「場の観点から認知を捉え る-主観的把握と客観的把 握再考」○大塚正之(早稲 田大学)・岡智之(東京学 芸大学)	「脱主体化プロセスとして の日本語モダリティ再考」 今泉智子(北海道大学 [院])	"Event Segmentation in French Motion and Caused Motion Events" MORITA Takahiro (Toyo University)	「Cry me a river.はなぜ適 格か-英語の二重目的語構 文と命令文の融合がもたら すもの-」高橋英光(北海 道大学) [招聘]
	16:25 17:00	「児童の音に関する共感覚 比喩の理解・産出につい て」井上寛菜(横浜国立大 学[院])	「認知文法におけるカテゴ リ-化研究の再考-主体化 現象からの動機付けの射程 -」 對馬康博(札幌大学)	「日本語のモダリティと実 在性に関して-「そうだ」 における「様態」と「伝 聞」-」高島彬(金沢大学 [院])	「記憶のユニットとしての 行為連鎖」 浅尾仁彦(名古 屋大学)	「位置変化と状態変化」 を表す結果句into/out of troubleについて」 浅井良 策(大阪大学[院])
	17:00 17:35	「スペイン語接続法の情報 伝達機能-認知文法のグラ ウンディングの観点から -」 藤田亜弓(京都大学 [院])	「動詞接頭辞over-/under- の非対称性とその動機づけ -認知主体の捉え方と項構 造-」○堀内ふみ野(慶應 義塾大学[院]/日本学術振 興会特別研究員)・野中大輔 (東京大学[院]/日本学術振 興会特別研究員)	「未遂を表す後項動詞の意 味分析-「~そこなう」、 「~そびれる」を中心に -」 木村あずさ(名古屋大 学[院])	「行為連鎖のアクティヴ・ ゾーン-介在使役構文の換 喩的基盤-」 小松原哲太 (関西大学[非常勤])	「場所格交替におけるwith 句の省略可能性について」 森藤庄平(名城大学[非常 勤])

懇親会 (18:10~20:10) 寒梅館地下A

※1日目・2日目ともに、良心館RY104にて書籍展示を行います。

日本認知言語学会第16回全国大会プログラム 【2日目】

9月13日(日) 受付9時10分 良心館1階 (受付は1日目に受付を済まされていない方だけで結構です)

		第1室	第2室	第3室	第4室	第5室
		良心館RY101	良心館RY102	良心館RY106	良心館RY207	良心館RY208
司会		堀田優子 (金沢大学)	李澤熊 (名古屋大学)	木原恵美子 (神戸大学)	宮浦国江 (愛知県立大学)	菅井三実 (兵庫教育大学)
第1発表	9:30 10:05	「単節レベルを超えた構文分析—make one's wayの場合—」中村英江 (神戸女子大学[院])	「日本語と朝鮮語における視覚動詞の試行相文化用法の展開」山崎雅人 (大阪市立大学大学院)	「品詞の概念化に関する考察—英語軽動詞構文を例に—」井口智彰 (大島商船高等専門学校/広島大学[院])	「複合変化結果構文における事象参加者の概念化と具現化」貝森有祐 (東京大学[院])	「Alzheimer病の諺・metaphor/metonymy理解と語の類似性判断—単純化・菲薄化されたAlzheimer病患者の世界を言語機能からのぞく—」古本英晴 (国立千葉医療センター) [招聘]
	10:05 10:40	「seeming verbsとcomplement as 構文との相互作用による譲歩構文について」河野亘 (京都大学[院])	「日本手話における知覚動詞の虚構移動」高嶋由布子 (日本学術振興会特別研究員/東京学芸大学)	「日本語母語話者と英語母語話者の基本多義動詞CUTの意味の受容判定とその要因」山崎香緒里 (お茶の水女子大学[院])	「身体活動語彙による知性的概念の構造化について—1つの主題を共有する複数のメタファーの“共生”の実態—」大神雄一郎 (日本学術振興会特別研究員/大阪大学[院])	「日本語失文法者における受動文の産出と理解：ブローカ失語の1症例について」井原浩子 (東京造形大学)

10分休憩

司会		鈴木智美 (東京外国語大学)	上原聡 (東北大学大学院)	和田尚明 (筑波大学)	森雄一 (成蹊大学)	野村益寛 (北海道大学)
第3発表	10:50 11:25	「「はい」と「いや」の一考察—応答用法の典型例と周辺例の連続性—」渡邊真 (名古屋大学[院])	「構文のスキーマ性に関する対照言語学的研究—中国語と日本語の分裂構文の対比を通じて—」〇楊竹楠 (名古屋大学[院])・堀江薫 (名古屋大学大学院)	「時制の一致現象と話者の意識の焦点」岩田真紀 (京都大学[院])	「日本語の「嘘」の意味構造のNatural Semantic Metalanguageによる分析—パラレル・コーパスを通して—」斎藤珠代 (東北大学[院])	「Bridging metaphor and metonymy using lexical concepts and Cognitive Models framework」佐藤絢子 (バンガー大学[院])
	11:25 12:00	「共同注意確立活動におけるア系の有標性—会話分析の手法を用いた指示詞分析の一例—」〇平田未季 (秋田大学)・山本真理 (早稲田大学)	「語気詞と反復疑問文の認知的考察—中国語・英語・日本語の機能的構造分析による言語類型—」〇中谷博美 (金沢大学[院])・屈莉 (フリー)	「完了形の共通スキーマと3用法の意味」山本幸一 (名古屋外国語大学[非常勤])	「推論レベル切り換えのトリガーとしての構文の逸脱表現」大石亨 (明星大学)	「A cognitive approach is good enough to find a degree!」木山直毅 (大阪大学[院])

昼食休憩 (12:00~14:00 ポスターセッションを含む)

ポスターセッション	12:30 13:30 9件 同時進行	「学習者の持つフレーム知識を活用したコミュニケーションのための感覚英文法反意語を意識することで類似した2つの表現の意味を捉える」今井 隆夫 (愛知県立大学他[非常勤])	「ボトムアップ式に認知言語学の知見を英語教育に応用するメソッドとその効果—グループ学習とエクササイズ—」藤井数馬 (沼津工業高等専門学校)	「awayの多義性と構文」堀川恵 (愛知県立大学[院])	「bread and butterの意味消失：慣用的な英語並列表現が意味変化するプロセスについて」青木繁博 (新潟青陵大学短期大学部)	「N-Proof語の意味論：ブレンディングと「ストーリー」知識」宮浦国江 (愛知県立大学)
	すべて良心館2階	「現代日本語における知覚形容詞「高い」の意味基準に関する一考察—場所名詞の観点から—」西内沙恵 (立教大学他[非常勤])	「メタ言語表現としてのルビの分析—精緻化および概念融合理論の観点から—」黒田一平 (京都大学[院])	「中国語の結果構文にみられる「無標コード化」と「有標コード化」」楊明 (関西学院大学)	「ある仏語母語幼児の助詞「に」「で」の習得についての一考察—用法基盤モデルを援用して—」橋本ゆかり (横浜国立大学大学院)	

総会 (14:00~14:15) 良心館RY地2

シンポジウム 14:15~16:55 良心館RY地2	テーマ：「感性の認知科学と言語研究」	
	講師・司会：篠原和子 (東京農工大学) 講師：渡邊淳司 (NTTコミュニケーション科学基礎研究所) 講師：細馬宏通 (滋賀県立大学) コメンテーター：今井むつみ (慶應義塾大学)	「概念メタファーと認知実験」 「触覚の言葉、言葉としての触覚」 「運動調整仮説：オノマトペに随伴する動作の規則と多様性」

閉会挨拶 (16:55~17:00) 良心館RY地2